



シカと狩猟を 考える シンポジウム

平成22年7月25日(日)
安曇野市豊科公民館 入場無料

主催 長野県
共催 社団法人長野県猟友会
後援 国立大学法人信州大学農学部野生動物対策センター、長野林政協議会
安曇野市、社団法人長野県調理師会



期日 平成 22 年 7 月 25 日(日)

場所 安曇野市豊科公民館(安曇野市豊科 4289-1) 0263-72-2158
入場無料

- | | | |
|------|-------------|---|
| ★ 講演 | 13:00～ | 開会 |
| | 13:10～14:20 | 「ニホンジカの生態とその管理の難しさ」
講師 高槻成紀氏(麻布大学獣医学部教授) |
| | 14:20～14:50 | 休憩 |
| | 14:50～16:00 | 「江戸時代の鉄砲管理から鳥獣被害を考える」
講師 荒垣恒明氏(東京工業高等専門学校講師) |

高槻成紀 (たかつき・せいき)氏 プロフィール



1978年東北大学大学院理学研究科修了、理学博士。東北大学助手、東京大学助教授、教授を経て、2007年より現職。専攻は野生動物保全生態学。ニホンジカの生態学研究を長く続け、シカと植物群落の関係を解明してきた。カモシカ、クマをはじめ、世界の大型草食獣や草原の生物多様性の研究にも取り組んでいる他、里山の動物、都市緑地の動物などについても調査している。著書に「北に生きるシカたち」(どうぶつ社)、「歯から読みとるシカの一生」(岩波書店)、「野生動物と共存できるか」(岩波ジュニア新書)、「シカの生態誌」(東大出版会)、「野生動物への2つの視点」(ちくまプリマー新書、共著)などがある。

荒垣恒明 (あらがき・つねあき)氏 プロフィール



1968年生まれ。中央大学山村研究会の中心人物で、山梨県早川町ならびに長野県栄村秋山郷などの山村地域を中心に歴史的な視点から精力的に調査を行っている。専門は戦国時代・江戸時代の鉄砲

★ ジビエの試食

- | | |
|-----|-------------|
| 1回目 | 12:00～13:00 |
| 2回目 | 14:20～14:50 |

★ ハンティングシミュレーション(狩猟体験)、狩猟免許相談コーナー
10:30～15:30

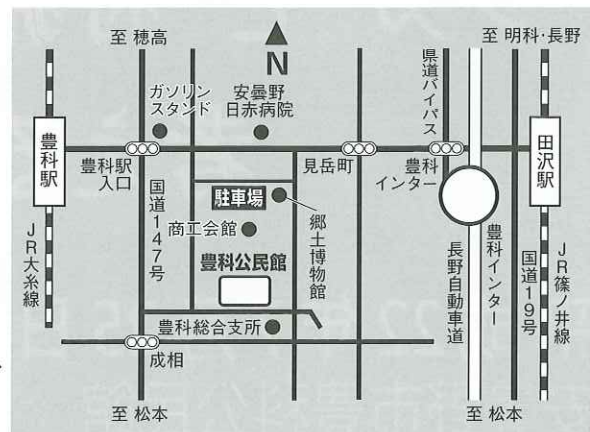
★ 鳥獣被害対策相談コーナー

★ パネル展示等

農林業被害の現状、ジビエ活用事例
捕獲用具(わな等)等

アクセス

- | | |
|----|--------------------|
| 車 | : 豊科ICから2km 5分 |
| 鉄道 | : JR大系線豊科駅下車徒歩 10分 |



問合せ先

長野県林務部 野生鳥獣対策室

Tel 025-235-7273 Fax 025-235-7279 E-mail: shinrin@pref.nagano.lg.jp

